

平成19年度に実施された事業の結果報告及び今後の方向性(概要)

※本ページは各事務事業の概要紹介と19年度の報告を目的としています。評価の詳細については次ページをご覧ください。

事業名	危険物製造所等の検査・査察事業	所管	消防本部 予防課
			TEL 2929-9121

事業の目的 (何の為に 行うか)	危険物施設は火災の発生危険が高く、また、漏洩事故は環境への甚大な被害をまねく恐れがある。このような事故を未然に防止するため、施設の構造、設備のほか、資格者による安全な作業が行われているかについて検査を実施する。
------------------------	---

対象 (誰を、何を 対象として いるか)	所沢市火災予防査察規程に基づく危険物施設の立入検査の計画件数	対象とした数	291	件
		実際に 利用した数	136	件

活動の内容	(何を したか)	①所沢市火災予防査察規程に基づき、立入検査の年度計画を作成する。 ②危険物施設を有する事業所の関係者と電話により立入検査の日程を調整する。 ③予防課危険物規制事務担当者により立入検査を実施する。 ④不適合事項については、その程度により必要な期限を定めて改修の報告を求める。 ⑤期限を過ぎても改修の報告が無い場合は、改修の進捗状況を電話により確認する。 ⑥公共の安全に危険を及ぼす虞があり、違反者には是正の意思が認められない消防法令違反については、消防法及び所沢市危険物違反処理規程に基づく違反処理を行う。							
活動実績	項目名	立入検査	136	項目名	指示件数	191	項目名	指示事項改善件数	131
			----- 単位 件			----- 単位 件			----- 単位 件

経費 (どれだけか かったか)	当初予算額(千円)	決算額(千円)	事業費合計(千円) ※人件費・公債費を含む	市民一人当たり単価(円)
	132	132	9,526	28.1

成果 (結果として どうなった か)	成果指標名	説明 (計算方法等)	目標値	実績	達成率
	指示事項の改善率	指示事項改善件数/指示件数	100	69	69.0
			----- 単位 %	----- 単位 %	----- 単位 %

今後の 方向性 (所管の意 見)	総合 評価	* 事業の継続 ⇒ 拡充 縮小 統合 * 改善・効率化 改善余地なし その他 []				
		終了 ⇒ 事業完了 終了 休止				
	予算	* 現状どおり 増額 減額 終了				

今後の 方向性 (二次評価の 意見)	二次評価実施の有無 有り⇒下記評価へ * 無し⇒終了					
	総合 評価	拡充 縮小 統合 改善・効率化 改善余地なし その他 [] 終了				
	予算	現状どおり 増額 減額 終了				

平成 20 年度事務事業評価表(一般用)

①事務事業名		担当 部課	部課コード	100200	TEL	2929-9121
事業コード	100211 危険物製造所等の検査・査察事業					
開始年度	昭和 30 年度		—	終了年度	平成 年度	

②事業の概要	事業の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 法定受託+附加			根拠法令
	分野別計画・指針	なし			消防法
	関連・類似事業	防火対象物の是正・検査事業(予防課)、査察・火災調査指導員育成事業(予防課)			所沢市火災予防査察規程
	総合計画の体系	政策	第6章 みんなが安心して暮らせるゆとりあるまち	施策	1節 消防・救急 中柱 2 火災の予防 小柱 (4) 危険物等安全指導の充実
	行政改革大綱における行動計画への位置づけ	・H19市民意識調査における施策の順位…43施策中 13 位 ・実施計画における位置づけ… H19 *** H20 ***			

③事業の内容	目的(何のために行か、具体的に)					
	危険物施設は火災の発生危険が高く、また、漏洩事故は環境への甚大な被害をまねく恐れがある。このような事故を未然に防止するため、施設の構造、設備のほか、資格者による安全な作業が行われているかについて検査を実施する。					
	対象(誰を、何を対象としているのか)					
	所沢市火災予防査察規程に基づく危険物施設の立入検査の計画件数			利用数の考え方		
	対象数	単位	平成 18 年度	301 件	平成 18 年度	168 件

④前年評価と改善点	平成19年度事務事業評価結果(平成20年度の方向性)		≪ 最終評価 <input checked="" type="checkbox"/> 一次評価 <input type="checkbox"/> 二次評価 ≫	
	総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の継続 ⇒ (<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 [])		
	予算	<input checked="" type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了		
	平成19年度中に改善した点			

⑤経費	《会計種別》	一般会計	平成 18 年度 (千円)	平成 19 年度 (千円)	平成 20 年度 (千円)
	当初予算		431	132	151
	決算(見込み含む)		420	132	
	(嘱託職員)(臨時職員)	(人) (人) (人) (人)			
	正規職員人件費		0.90 人 8,280	1.00 人 9,394	※「財源内訳」について平成20年度のみ、当初予算の内訳となっています。
	公債費				
	事業費合計		8,700	9,526	
	財源内訳	一般財源	8,700	9,526	151
		国・県支出金			
		受益者負担金			

⑥指標	項目名	計算方法	単位	H 18	H 19	H20見込み	将来目標	
	活動実績	立入検査	立入検査を実施した危険物施設数	件	168	136	231	
		指示件数	立入検査において改善を指示した件数	件	245	191		
		指示事項改善件数	指示件数に対して改善された件数	件	140	131		
	成果分析	指示事項の改善率	指示事項改善件数/指示件数	%	目標値 100	実績 57	69	実績値の拡大を図る1 実績値の縮小を図る2 1

⑦一次評価	評価項目	現状評価	評価項目	現状評価
	対象設定	事業の対象を見直す必要性	実施主体	現在の実施主体
		<input type="checkbox"/> 対象を絞る <input type="checkbox"/> 対象を拡大する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの必要なし	市	見直しの必要性
		類似・関連事業などとの整理・統合	受益と負担の関係	受益者負担の有無
	他事業との整理・統合	<input checked="" type="checkbox"/> 統合する <input checked="" type="checkbox"/> 連携する <input type="checkbox"/> 類似事業がない <input type="checkbox"/> 統合等必要なし	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
明らかとなった課題	指示事項の改善率は10%以上向上しているが、危険物に起因する事故は重大な被害をもたらすことから一層の改善率の向上が必要である。			

⑧二次評価	今期目標項目(何を)	達成水準(どこまで)	時期(いつまで)	
	平成20年度における目標設定	危険物施設の立入検査を実施する。	年度計画に基づき危険物施設の立入検査を実施する。	年度内
	消防法令違反に伴う措置命令等に対して100%の是正率を達成する。		年度内の履行を確認する。	年度内
	平成21年度における事業の方向性	総合評価 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の継続 ⇒ (<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 [])		
	予算	<input checked="" type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了		

⑨個別計画における方向性	環境基本計画	本事業の左記計画における位置づけ…有り	計画コード	182	
	1-8災害の対策	1-8防災体制の充実			
	優先順位…	非常に高い	高い	やや低い	低い
	見込まれる貢献度	総合計画上位目標			
	評価理由	市長マニフェスト			